

# 灯

(あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和6年2月2日(金) 第29号

文責：校長 森下 隆司

## 指導・支援の徹底によるめざす児童生徒の育成

玉之浦小中学校は、本年度から令和7年度までの3年間、五島市教育委員会から研究指定を受けています。小中併設校の強みを生かし、「小中連携」による学力の向上について実践をもとに、その効果について研究授業や日々の実践を検証しながら、研究を進めています。日々の授業はもちろんですが、家庭学習の定着や学習習慣の定着にも視点をおいて取り組んでいます。

最近の学校風景の中で、特に私が取組の効果を期待している2つの事例を紹介します。

一つ目は、中学3年生の高校受験に向けて中学校の先生方が取り組んだ「面接練習」です。計画では、教諭→教頭→校長という段階によって様々な場面や質問内容を設定し、子供たちが自信をもって受験に臨める手立てを行いました。校長が最終面接の機会をいただいたのですが、私の面接では所作、受け答えなど、素晴らしい対応ぶりでした。中学3年生の4名は緊張したそうですが、模擬面接官の私の方が緊張するほど、子供たちの熱意・姿勢に圧倒されました。



二つ目は、中学年が復習している「かけ算九九」です。学習の確実な定着のために、榎林先生が作成した「かけ算九九マスターへの道」を用いて、学校内のいろいろな場所で教職員にかけ算九九の暗唱を聞いてもらっています。休み時間や昼休み時間など、休憩時間をいとわず熱心に取り組む子供たちの意欲を、大変うれしく、頼もしく感じています。



学力の定着のためには、子供たちに寄り添い支援しつつも、教師と子供の「根くらべ」のようでもあります。子供たち個々の実態に合わせて、粘り強く、妥協せず、子供たちが「できるようになった！」「うれしい！」と喜ぶ笑顔を見るために、教職員一同しっかりと取り組んでまいります。

## 担任変更のお知らせ

小学校1、2年担任の橋詰なな子教諭が、お産のために2月7日(水)より休暇に入ります。全国的な教員不足が話題となっていますが、長崎県においてもその傾向は同様であり、代替教員は入りません。今年度は高洲教頭が教頭業務と1、2年担任を兼務します。各教科の授業においては、小中学校教員で分担して受け持ちます。

## たまんなっ子じまん — 掃除への取り組み —

私は、掃除の時間に玄関の掃除をすることが多いです。ある日、5年生児童が下足箱の掃除をしていました。下足箱掃除担当なので、5、6年生の下足箱を掃除することが役割なのでしょうが、その児童は、下足箱の下の床を丁寧に掃き掃除、拭き掃除を行い、ごみが取れにくいマットの汚れやほこりを丁寧に取り除いていました。一人で黙々と掃除をしていました。学校評価では、「自分の役割に責任をもち、積極的に行動している」及び「きれいな環境づくり」についての評価が低かったのですが、自信をもって自慢できる子供たちが玉之浦小中学校にはいます。これからも子供たちの素敵な姿を紹介していきます。

【本日までのホームページ更新内容】

学校ホームページは、[こちらから](#) →



1/27(土)「ソフトテニス春季大会」、1/27(日)「青少年健全育成意見発表会」、1/30(火)「給食集会」